

# 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する 理論と実践

選択 2単位

水内 豊和

## 1. 授業の概要(ねらい)

家族関係等、集団の関係性と地域社会に焦点を当てた心理支援の理論と方法について概説する。その上で臨床心理学的な視点から家族関係・集団・地域社会における心理支援のあり方についてアプローチしていく。

授業は、講義方式と演習方式で進める。演習では、輪番制でテキストおよび学術論文の担当箇所を報告し、それに基づき履修者全員でディスカッションする機会を設け、この領域の心理支援について受講生各自が明確なイメージを持って学ぶことを目指している。

## 2. 授業の到達目標

- ・家族・集団・地域に関する心理専門職としての実践領域と理論を説明できる。
- ・家族・集団・地域に関する心理支援のポイントを説明できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

グループディスカッション等授業に対する積極的参加、発表、レポートなどを総合して評価する(参加15点、発表20点、授業内レポート2回×15点=30点、最終レポート35点、計100点)。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

授業内で適宜紹介します。

参考文献

中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子 家族心理学:家族システムの発達と臨床的援助 有斐閣ブックス

## 5. 準備学修の内容

授業で紹介する文献、ニュース、インターネットサイトなどについて、興味を持って読み、関心を広げてください。

## 6. その他履修上の注意事項

- ・授業で発表の担当に当たった場合は責任を持って担当すること。
- ・授業中の積極的な参加を評価するので留意すること。
- ・この科目は、公認心理師試験および臨床発達心理士試験の受験資格を得るために必要な科目である。
- ・授業内の課題にはLMSを使う予定です。変更がある場合などについては授業内で指示します。また、LMSの本授業のページ内に、授業に関する情報を掲載しますので、履修者は毎週アクセスするようにしてください。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 家族・集団・社会に関わる心理実践とそれを支える発達の基礎理論について学ぶ。
- 【第2回】 家族関係等集団の関係性に焦点を当てた心理支援の理論と方法:エリクソンのライフサイクル論について学ぶ。
- 【第3回】 オープンシステムとしての人:プロンフェンレンナーの生態学的発達理論・ミラーの生命システム理論(Living Systems Theory)について学ぶ。(オンライン回)
- 【第4回】 育児・保育支援について学ぶ:家族を取り巻く現代的な課題(家族の多様化、育児への支援とは何か)、親としての発達等。
- 【第5回】 子ども・子育て支援新制度、待機児童問題、社会保障の一環としての子育てについて学ぶ。子育て支援システムの変遷から、公認心理師・臨床心理士・臨床発達心理士に対するニーズを考える。
- 【第6回】 地域社会や集団・家族に働きかける心理学的援助に関する理論と方法を学ぶ:インクルージョンの思想と社会的背景について学ぶ。
- 【第7回】 生態学的コンサルテーション、組織コンサルテーション、カウンセリングのポイントを学ぶ。
- 【第8回】 生活の中での心理学的援助とは何かを学ぶ。
- 【第9回】 生活の場における気になる子ども・気になる生徒について学ぶ。
- 【第10回】 心理に関する相談、助言、指導等について、心理実践の事例を通して学ぶ:保育場面における心理相談の助言・指導の根拠となるアセスメントの方法を学ぶ。
- 【第11回】 心理相談事例から学ぶ:重い障害のある子どもに対する心理的支援を学ぶ。
- 【第12回】 心理相談事例から学ぶ:家族支援を併行して行った事例をもとに多職種連携と心理的支援のポイントを学ぶ。
- 【第13回】 心理実践の意義を生涯発達にわたる長期継続事例から学ぶ:ASDの事例。
- 【第14回】 家族・集団・社会に関わる心理職の専門性についてディスカッションを通して学ぶ。
- 【第15回】 家族と子どもに対する心理実践の専門性についての考えを交流し、レポートにまとめて提出する。